

# ごあいさつ



札幌市農業協同組合  
代表理事組合長

## 軽部 幹夫

日頃、みなさまには格別のご愛顧をいただき厚くお礼申し上げます。

JAさっぽろは積極的な情報開示を通じて経営の透明性を高め、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、令和4年度の事業内容に関するディスクロージャー誌『JAさっぽろディスクロージャー2023』を発行いたしました。みなさまが取引金融機関を選択する際の判断材料として、また、当JAの地域貢献活動への取り組み、業績の推移などをご理解いただくための一助として、ご一読いただければ幸いです。

### ●農業とJAを取り巻く情勢

今日の農業を取り巻く情勢は、国際紛争や円安の進行による肥料・飼料をはじめとした生産資材の価格がかつてないほど高騰し、コロナ禍から回復途上にある日本農業の今後の営農継続に向けた大きな不安材料となっております。それらの影響は農業者の自助努力の範囲を超えつつある中でも、食料の安定供給の為懸命な努力を続けております。

また、JAをめぐる情勢は、低金利政策の継続により資金運用の収益性の改善が見込まれない中、将来に向けた持続可能な収益性や経営健全性の確保が求められております。

### ●事業実績の状況

令和4年度における管内の農業は、記録的な積雪も例年並みに融雪し、播種・定植は順調に推移しましたが、干ばつの影響により、活着の遅れや苗の傷みなど影響を受けております。その後は、高温傾向となり回復しましたが、連続的な降雨により一部作物に出荷量の減少や品質の低下が見受けられる状況となりました。

品目別には、玉葱は全道的に豊作となりましたが、市場取引、販売価格については不安定な部分があったものの、比較的順調に推移しました。

そ菜につきましては、近年の天候不順により野菜の価格変動が大きくなっている中、出荷数量、出荷金額が大幅に落ち込むなどの影響がありました。

信用・共済・相談事業につきましては、支店機能再編を行い、組合員や利用者のみなさまとの対話を重視した戦略により、事業利益では計画を大きく上回る成果を得ることが出来ました。みなさまのご利用、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

### ●みなさまへのメッセージ

令和5年度は、第5次中期3カ年経営計画の実践2年目となり、重点テーマとして掲げた「農業の持つ価値の発信」を着実に推し進めてまいります。

また、JAいしかりとの合併については、本年2月の臨時総代会において合併の承認を賜りました。合併の実現により、経営資源を相互補完することで、より信頼されるJAとして再構築を図ってまいります。

今後も多様化する価値観やニーズに応え、組合員、地域のみなさまに必要とされる存在を目指してまいりますので、みなさまのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月